とりぎんの「いま」

平成24年度中間決算のご報告

業績ハイライト

平成24年度中間期の決算は、与信関連費用の減少もあり、増収増益決算となりました。預金残高や中小企業等貸出金残高も順調に増加し、預金残高は中間期としては過去最高となりました。

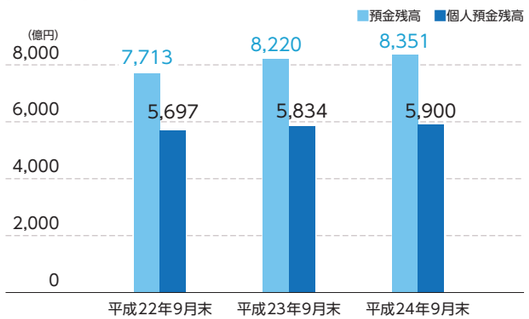
また、自己資本比率は11.55%と国内基準で必要とされる4%を大きく上回っているほか、不良債権比率も引き続き2%台にあり、安全性・健全性ともに高い水準を維持しています。

損益の状況（単体）

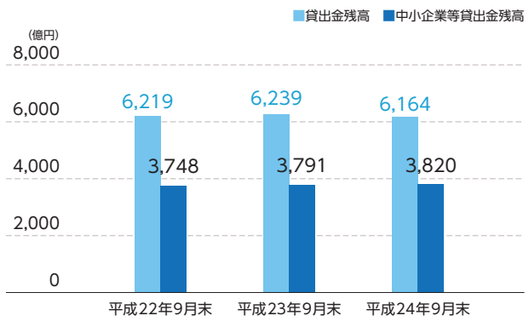
（単位：百万円）

	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期
コア業務純益	789	695	740
経常利益	1,106	587	1,061
中間純利益	689	309	489

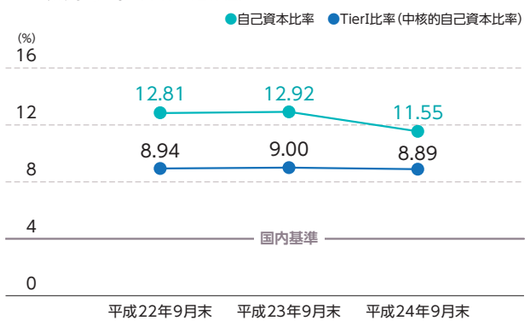
預金残高（単体）



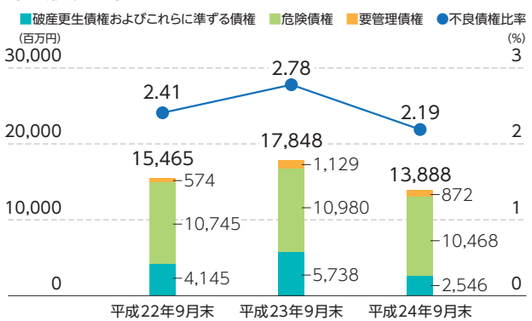
貸出金残高（単体）



自己資本比率（単体・速報値）



不良債権の状況（単体）【金融再生法ベース】



第149期中 中間貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当中間期（平成24年9月30日現在）
資産の部	
現金預け金	42,550
買入金銭債権	43
有価証券	196,023
貸出金	616,486
外国為替	638
その他資産	14,585
有形固定資産	11,360
無形固定資産	3,558
繰延税金資産	8,921
支払承諾見返	4,646
貸倒引当金	△4,775
投資損失引当金	△14
資産の部合計	894,023
負債の部	
預金	835,107
譲渡性預金	1,000
コールマネー	58
借用金	5,095
外国為替	1
社債	5,000
その他負債	6,972
賞与引当金	435
退職給付引当金	1,710
偶発損失引当金	140
睡眠預金払戻損失引当金	19
再評価に係る繰延税金負債	740
支払承諾	4,646
負債の部合計	860,928
純資産の部	
資本金	9,061
資本剰余金	6,452
利益剰余金	23,924
自己株式	△508
株主資本合計	38,930
その他有価証券評価差額金	△6,760
繰延ヘッジ損益	△0
土地再評価差額金	925
評価・換算差額等合計	△5,835
純資産の部合計	33,095
負債及び純資産の部合計	894,023

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第149期中 中間損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当中間期（平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで）
経常収益	9,729
経常費用	8,668
経常利益	1,061
特別損失	249
税引前中間純利益	811
法人税、住民税及び事業税	39
法人税等調整額	282
法人税等合計	321
中間純利益	489

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙 これなぁに？

白壁土蔵群・赤瓦（倉吉市）

赤瓦と漆喰の白壁が織りなす懐かしい町並み

倉吉市内を流れる玉川沿いに残る昔ながらの土蔵や商家の町並み。国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定された土蔵の多くは、江戸／明治期に建てられました。赤褐色の瓦屋根、漆喰(しっくい)の白い土壁、焼杉の黒い腰板などが特徴で、静かに流れる玉川や小さな石橋とともに懐かしい風情を醸し出し、辺りにはゆっくりとした時間が流れています。

現在、この白壁土蔵群の一角は、こだわりのお店やギャラリー、郷土玩具の工房などに改築され、お土産などの買い物はもちろんのこと、イベント体験など倉吉の新しい観光名所として人気を集めています。